

平成29年度 東京都隊友会 年次報告

公益社団法人隊友会 東京都隊友会 平成29年 6月30日発行

ご挨拶

東京都隊友会会長 直海康寛

本年5月に「隊員家族支援の協定」が陸自と家族会・隊友会との間で締結され、協定に基づく計画・訓練が更に深化されつつあります。何と云っても、我々としては会勢拡大や会活動の活性化のためであることはもちろんのこと、「隊員家族支援」等隊員を支える支援・協力の活動のためにも日頃からの近傍部隊等や関係協力団体との緊密な連携が不可欠であります。一昨年、昨年と練馬駐屯地で、今年は三宿駐屯地で総会を実施しましたが、部隊・隊員が隊友会と交流し身近に感じてもらうための一環として意義あるものと考えております。

最近では部隊側からも各種行事への参加依頼や隊友会についての説明の機会をいただく等隊友会に対し積極的な働き掛けもあり、しっかりと期待に応えて行きたいと思っております。

厳しい我が国を取り巻く安全保障環境の下、先般安倍首相・自民党総裁から憲法9条に自衛隊の存在を明記する具体的案が表明され、ようやく憲法改正に向けての国民的議論の動きが加速されようとしております。現在の地道な署名活動の成果が実を結ぶまで引き続きしっかりと改正の運動に協力していきたいと思っております。

会費納入要領による会員区分が本年度から「年会員」に一本化され、会費等の徴収、会運営上の会費配分等は今後も基本的には従来の要領で行ってまいります。どの様な影響が出てくるのかやや不透明なところもあり、試行期間を経て明らかになった問題点を踏まえ改善して行きたいと思っております。

従来の終身会員の方々には、会費納入要領の変更の趣旨に対し特段ご理解頂き、会務運営寄付金面で引き続きご協力とご支援を改めて宜しくお願い申し上げます。

課題であります会勢拡大については、部隊側と会員皆さんの努力のお陰で成果が逐次出てきております。会員区分が「年会員」に一本化されたこの機会をチャンスと捉え引き続きの会活動の活性化、会勢拡大をよろしく願いいたします。

平成29年6月22日

I 平成28年度 事業報告の概要

1 会員

- (1) 正会員数 2169名 (入会180名、退会124名)
 - ア 出身別 陸：1495名、海：227名、空：387名、その他：60名
 - イ 会員別 年会員：737名、終身会員：1432名
- (2) 特別会員 96名

2 組織

- (1) 地区支部協議会1、地本地区隊支援隊友会1、地域支部33、職域支部2
- (2) 支部長交代(28年6月以降)・・・支部 (支部長名)
渋谷 (新井俊幸)、練馬 (村越和平)、衛生 (藤岡高弘)、立川 (水野鉄臣 代行)

3 財務 (単位：千円)

- (1) 経常収益 6,719 (会費等1,952、事業収益2,518、雑収益：1,488)
- (2) 経常費用 5,879 (事業費3,016、管理費 2,862)
- (3) 期末残高 3,725

4 会活動

(1) 会勢拡大施策等

昨年に引き続き会勢拡大施策推進基地等を中心に隊友会活動を広報すると共に、各部隊に入会推奨を依頼した。特に、練馬駐屯地で都定期総会後に現職隊員と意見交換会を実施したほか、地本予備自招集訓練時に激励・説明会(19回、延べ1150名)及び退職予定者就職説明会参加者への説明会(4回、延べ230名)を実施し、逐次入会者が増加

(2) 憲法改正賛同者署名活動

「会員一人当たり10名以上の賛同者募集を目標とする。」ことを決議し、賛同者目標到達を期するとともに、国会における憲法改正発議、国民投票に向け引き続き憲法改正気運高揚中

(3) 地方自治体に対する協力

- ア 自治体と災害時応急対策業務協定を練馬支部が締結調整中
- イ 各区の防災訓練等に足立、江東、墨田、板橋、練馬及びひばりの各支部が参加

(4) 自衛隊に対する協力支援

- ア 東部方面隊実施の災害情報訓練（6月）に東京地本を通じ17名が情報提供で参加
- イ 隊員家族の支援要領について自衛隊及び家族会と具体的調整を開始。
- ウ 第1師団創立記念行事（4月）、東京地本創立記念行事（11月）等に、都並びに支部ごと参加
- エ 地本主催の入隊等予定者説明会に協賛し、自治体主催の入隊等予定者激励会に支部ごと参加
- オ 賛助会員4名へ香典贈呈

(5) 予備自衛官等に対する支援

- ア 予備自衛官招集訓練参加者（19回、延べ約1050名）を激励
- イ 予備自衛官勤続記念徽章、体力・射撃検定優秀者メダル、生活消耗品等を贈呈

(6) 殉職自衛隊員及び戦没者等の慰霊

- ア 第1師団長執行の東京都殉職隊員追悼式に協賛・供花（10月、練馬駐屯地）
- イ 千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋季慰霊祭を支援（10月、65名）
- ウ 靖国神社内苑清掃奉仕を4回実施（10個支部・直轄、延べ70名参加）
- エ 特攻観音堂年次法要を支援（世田谷支部、医療支援部会）、御陵清掃（八王子支部）等

(7) 防衛等講演会

- ア 第1師団長西陸将による「安全保障環境講演会」（5月、約100名参加）
- イ 陸上幕僚長岡部陸将による「陸上自衛隊改革講演会」（1月、約170名参加）
- ウ 本部主催の防衛セミナー（10月）に出席
- エ 8個支部（八王子、武蔵野、墨田、練馬、板橋、世田谷、立川、小平）が独自に講演会を開催

(8) ボランティア活動

医療支援部会及び予備自衛官（計20名）が、熊本地震災害ボランティアを実施（5月）

4 会員の福祉等及び新年交歓会

(1) 福祉、厚生等

- ア 練馬支部長企画の「ふれあいウォーキング」を4回実施、延べ100名参加
- イ 特別会員を主対象に富士総合火力演習見学会を実施（8月、55名参加）
- ウ 自衛隊行事及び各種講演会情報・新刊書情報を会員に案内し、ホームページで紹介

(2) 新年交歓会

- ア 防衛講演会后、国会議員等、陸幕長以下各部隊長等参加（1月、約170名参加）
- イ 支部毎、地本並びに協力団体等と共催で実施

5 会議等

- (1) 平成28年度定期総会（5月22日、練馬駐屯地、約80名参加）
- (2) 理事役会・支部長等会議、副会長会議を開催（4・9・12・3月、延べ約160名）

II 平成29年度事業計画の概要

1 方針

隊友会は、国民と自衛隊のかけ橋として相互の理解を深めるとともに、防衛意識の普及高揚に努め国の防衛及び防災施策、自衛隊諸業務などに対する協力・支援、慰霊顕彰事業並びに地域の健全な発展に寄与する事業を積極的に推進し、防衛基盤の構築に貢献する。

このため、公益目的事業の更なる定着充実化により会活動の活性化を図るとともに、会勢の拡大、収益事業等の強化により会基盤の充実を図る。この際、会員の福利と親睦のための事業を継続しつつ会の魅力化に努める。

2 各会務の基本的考え方

(1) 公益目的事業の定着充実

- ア 隊友会の魅力化を振起し今後の隊友会活動の活性化をもたらすという認識のもと、自衛隊の諸

活動と予備自衛官等に対する協力・支援を重視し地方自治体との関係を深化する。

イ 国及び地方自治体の国民保護・防災施策等に対する協力

- (ア) 東京地本、東京都庁及び都内各自治体との協力体制整備を追求し防災訓練等に参加する。
- (イ) 首都圏における大規模災害に伴う隊友会の活動要領の具体化を図る。
- (ウ) ボランティア人材バンクへの登録と専門的な識能資格取得のための支援を本部へ申請する。

ウ 自衛隊の諸活動に対する協力・支援

- (ア) 都内所在の各部隊等と緊密に連携を保持して会員の識能の活用を図る。
 - (イ) 自衛隊東京地方協力本部への募集・援護情報の提供、広報活動の支援を積極的に実施する。
- エ 予備自衛官等制度の普及や予備自衛官等福祉支援制度への加入者増加と退会者抑制を図る。
- オ 会員が自衛隊で培った能力・経験等を、地域社会の健全な発展に寄与する。
- カ 防衛講演会の実施や隊友紙の配布により、議員等との意見交換し防衛意識の普及高揚を図る。
- キ 殉職隊員追悼式の協賛、千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋季慰霊祭の支援、都内所在の戦没者慰霊施設等の清掃実施による戦没者・殉職隊員への崇敬・感謝表示と硫黄島遺骨帰還事業に積極的に参加する。

(2) 会基盤の充実強化

ア 会勢の拡大

- (ア) あらゆる機会を活用して隊友会を広報し入会を勧誘する。この際、未入会OB、予備自衛官及び一般人(特別会員)の勧誘に努める。
 - (イ) 部隊等の所在する全ての支部等を中心に各級指揮官及び担当者等との接触を緊密にし、退職前の隊員に入会の説明・勧誘を実施してもらうように依頼する。
- イ 都理事役を各分野からの出身者で構成し、各種機能に適切に配置して効率的且つ組織的な会務運営を図ると共に、支部組織の充実を図る。
- ウ 会員に対し年会費や会務運営寄付金の納入を依頼すると共に、収益事業の推進等により収益を増加する一方、経費を節用し財政基盤の強化を図る。
- エ ホームページを通じ会(支部)活動を積極的に広報し、会の魅力化、会員の帰属意識の高揚及び利便性の向上を図る。
- オ 会員に求人情報、親睦行事等を積極的に提供する。

(3) その他

国民運動(北方領土返還要求運動、憲法改正運動、英霊にこたえる会等)への参加・協力、国旗掲揚運動の推奨・実践及び自衛隊音楽祭り・観艦式見学等を案内する。

3 主要行事予定

- ・ 8月24日 富士総合火力演習見学会 ・ 9月10日、12月10日、3月11日 理事役・支部長等会議
- ・ 10月18日 千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋季慰霊祭支援 ・ 11月 東京都自衛隊殉職隊員追悼式(練馬駐屯地)、11月23日東京地本創立記念行事、・ 30年1月22日 防衛講演・新年交歓会

Ⅲ 役員の改選 (敬称略)・・・役員・支部長等名簿(平成29年度)参照・・・

(退任理事役)開尾勝、石坂旦、川島一郎、久保田勝造、齊藤司郎、杉本幹男、平田雄一、森清勇、横江勝利、和久井利員、(新任理事役)中曾根麻里、久保親弘、山口芳弘、高見道男、福岡敏郎、(重任理事役)直海康寛、野本恒雄、福澤賢、武田正徳、三田克巳、湖崎隆、有村邦明、石室屋政昭、岩崎修治、榎本眞巳、熊谷猛、熊田新平、佐伯忠史、庄司智、白須一也、道面康紀、中埜和男、西片甫、星野元宏、松岡裕子、松下孝雄、松田純清、森田英男、矢野義昭、山田好義、(重任監事役)飯島幸一、村越和平

会員の皆さん！安倍首相の提言で憲法改正議論が活発になり、国民投票が現実味を帯びてきました。国民の悲願である憲法改正に向け賛同署名活動を一層盛り上げましょう！！・・・
署名用紙は、用紙下部にある電話番号(隊友会本部)にファックスするか、事務局宛郵送して下さい。
・・・憲法改正・国民投票に関する情報は「KAIKENチャンネル」で入手できます・・・

「東京都隊友会事務局」〒136-0076 東京都 江東区 南砂 4-5-5-604

03-5683-2640, 090-4838-5586、matsu-taka@yg7.so-net.ne.jp

役員・支部長等名簿 [平成29年度]

東京都隊友会

290702現在

番号	役員・役職	氏名	兼支部長	地本地区隊	番号	支 部	支部長名	役員兼務	備 考	
1	理事役会長	直海 康寛		城東	江 東	1	江 東	松下 孝雄	理事役	
2	理事役副会長	野本 恒雄				33	2	墨 田	大桃 丈知	
3	理事役副会長	福澤 賢				34	3	荒 川	杉本 洋平	
4	理事役副会長	武田 正徳			台 東	4	台 東	中曾根麻里	理事役	
5	理事役副会長	三田 克巳				足 立	35	足 立	飯泉 千春	
6	理事役副会長	湖崎 隆			新小岩	6	葛 飾	久保 親弘	理事役	
7	理事役	有村 邦明	小平	7		江戸川	中埜 和男	理事役		
8	理事役	石室屋 政昭		城北	豊 島	36	新 宿	橋本 亮		
9	理事役	岩崎 修治	世田谷			9	板橋豊島	松田 純清	理事役	
10	理事役	榎本 眞己			北	10	北	熊田 新平	理事役	
11	理事役	久保 親弘	葛飾			練 馬	11	練 馬	村越 和平	監事役
12	理事役	熊谷 猛	西東京		高円寺	12	杉 並	星野 元宏	理事役	
13	理事役	熊田 新平	北			13	中 野	庄司 智	理事役	
14	理事役	佐伯 忠史		城南	港	14	千代田	★矢野 義昭	理事役	
15	理事役	庄司 智	中野			15	中 央	白須 一也	理事役	
16	理事役	白須 一也	中央		37	16	港	平田 雄一		
17	理事役	高見 道男	八王子		大 田	38	17	大 田	犬伏 秀一	
18	理事役	道面 康紀				世田谷	18	世田谷	岩崎 修治	理事役
19	理事役	中曾根 麻里	台東		代々木	39	19	渋谷	新井 俊幸	280729就任
20	理事役	中埜 和男	江戸川	三多摩	立 川	40	20	立 川	水野 鉄臣	290702就任
21	理事役	西片 甫	調布			21	武蔵野	山口 芳弘	理事役	
22	理事役	福岡 敏郎			西東京	41	22	三 鷹	下田 宇吉	
23	理事役	星野 元宏	杉並			23	西東京	熊谷 猛	理事役	
24	理事役	松岡 裕子			八王子	24	八王子	高見 道男	理事役	
25	理事役	松下 孝雄	江東			町 田	25	町 田	山田 好義	理事役
26	理事役	松田 純清	板橋		国分寺	26	小 平	有村 邦明	理事役	
27	理事役	森田 英男	杉並			42	28	国分寺	三浦 皓	
28	理事役	矢野 義昭	千代田		府 中	43	29	清 瀬 ☆	寺村 誠士	2904再発足準備中
29	理事役	山口 芳弘	武蔵野			44	30	府 中	中原 頼雄	
30	理事役	山田 好義	町田	府 中	31	調 布	西片 甫	理事役		
31	監事役	飯島 幸一			45	32	多 摩	大島 吉貞		
32		村越 和平	練馬	46	33	稲 城	山本 英夫			
1	顧 問	深山 明敏		職 域	世田谷	47	34	小田急バ	花里 毅	
2	参 与	志村 隆士				48	35	衛 生	藤岡 高弘	280622就任
3		石坂 且		事 務 局 長		松下 孝雄				
4		杉本 幹男		[凡例] 支部欄の ★:休眠中 ☆:再発足準備中						
5		森 清勇								